

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018年 5月 14日作成

研究課題名	経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）におけるサルコペニアの有病率と、栄養状態・術前後身体機能との関連：後方視的検討
研究の対象	2016年3月1日から2017年3月31日までに横浜市立大学附属市民総合医療センターに入院し、TAVIと心臓リハビリテーションの双方が実施された患者 ・経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）：カテーテルを使って人工の弁を心臓に留置する手術 ・サルコペニア：痩せて筋肉量が落ち、身体機能（歩行速度）や筋力（握力）が落ちている状態。
研究目的 ・方法	経カテーテル大動脈弁留置術（以下 TAVI）を行う患者において、①術前のサルコペニア患者の罹患率を調査すること。②術前後の身体機能と栄養状態との関連を検討する。
研究期間	西暦 2018年 6月 25日 ～ 西暦 2018年 12月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症 ・ TAVI 前後の身体機能（握力、歩行速度、膝伸展筋力、Short Physical Performance Battery、6分間歩行距離、Barthel Index） ・ 入院日、退院日、リハビリテーション開始日 ・ リハビリテーション開始時と終了時の血清アルブミン値、身長、体重 ・ リハビリテーション開始時のサルコペニアの有無
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション部 折津 英幸 電話番号：045-261-5656（代表）</p>	